

なか つからないでしょう。

Misquoting Jesus (イエスの 引用) という本の、

“神学的 による原典の改 ” と 打たれた章において、エ ルマン教授は第一テモテ3: 16の 改 について を述べています。それはアイザック ニュ トン卿によって されているだけでなく、18世 の学者ヨハン ヤコブ ヴェットスタインによれば、“ 世の写本は、「だれ」 が「神」 (は肉において れ) になるように原典を改 している。つまり、 世の修正者は、キリストの神格性が されるように原典を 更しているのである しかし 存する最古かつ 最良の写本によれば、肉において れたのはキリストであり、それが神であるとは かれていないのである。” [7]

エ ルマンによれば、初期の五 の写本においてこの改 は既に 著であったと しています。 バイブル写本として支配的となった中世の写本及びに英 による初期の翻 も、“最初期 最善” のものなどではなく、同 に改 されたものでした[8]

って、教会が よりも神学に焦点を置いた 果、中世以降のキリスト教の教 は腐 という 害 を被ったのです。 [9]

エ ルマンは加えています：“ヴェットスタインが を めるにつれ、キリストの神格性を 主 する教 に利用されている 々には、テキスト上の があることが判明したのです。それらの が分析された 果、大半のケ スではイエスの神格性に言及する 定的な要素が取り除 かれたのです。” [10]

上述されたことに基づいて、20世 キリスト教がイエスの神格性を否定する人々をも包 容するようになったことは くに しないでしょ。こうした 情の最たる兆候は、次の ロンドン デイリ ニュ ス

による 道に れているのではないのでしょうか：“ 半数の英国国教会の主教は、イエス キ リストが神であると信じることは ではないと述べていることが、本日 行された によっ て判明しています。” [11] 特 に することとしては、 の 象となったのは牧 で~~主~~教く であることです。これで教区民たちは、彼らの主教を信じないとなれば、 を信じて良 いのか分からずに困惑してしまうことでしょう！

???????????????? MisGod'ed ?????????????????? God'ed ???
www.LevelTruth.com???BrownL38@yahoo.com ?????????????????????????????

Footnotes:

- [1] マタイ 24: 36、ルカ 23: 46、ヨハネ 8: 42、ヨハネ 17: 6 8も参照。
- [2] Carmichael, Joel. p. 203.
- [3] 「人」については使徒行 2: 22、7: 56、13、38、17: 31を参照。「神のしもべ」については使徒行 3: 13、3: 26、27、4: 30を参照。
- [4] 去には一部の神学者たちによってヨハネ 1: 14、コロサイ人への手 2: 9に基づいた受肉の教の有化がられました。近代テキスト批判に晒された果、これらの々は支持を失いました。それは明らかな理由によるものです。ヨハネ 1: は、“ことば”について述べられていますが、それは神格性を意味するものではなく、“父の御から来られたひとり”というのも正な翻ではありません。これらのについては前章において（と否定）されています。コロサイ人、理解不能な言い回しなどといったを超えています。なぜならコロサイ人はその存在自体が捏造された疑いが持たれるためです。このに しては、Bart D. Ehrman's *Lost Christianities*, page 235 をご参照下さい。
- [5] Gibbon, Edward, Esq. Vol. 5, Chapter XLVII, p. 207.
- [6] Metzger, Bruce M. and Ehrman, Bart D. *The Text of the New Testament: Its Transmission, Corruption, and Restoration*. P. 286.
- [7] Ehrman, Bart D. *Misquoting Jesus*. P. 157.

[8] Ehrman, Bart D. *Misquoting Jesus*. P. 157.

[9] 更なる解明については、Metzger, Bruce M. *A Textual Commentary on the Greek New Testament*. Pp. 573-4を参照のこと。

[10] Ehrman, Bart D. *Misquoting Jesus*. P. 113.

[11] ロンドン デイリ ニュ ス、1984年6月25日号

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/560>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。